

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-182777
 (43)Date of publication of application : 28.07.1988

(51)Int.Cl.

G06F 15/40
 G06F 7/28
 H04N 1/21

(21)Application number : 62-014731
 (22)Date of filing : 23.01.1987

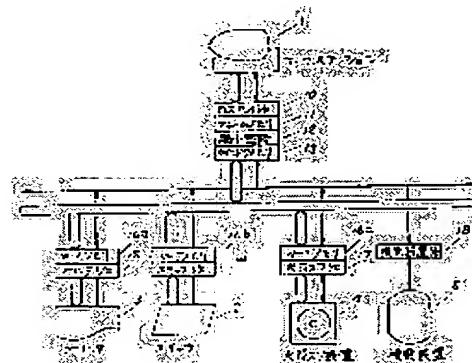
(71)Applicant : MATSUSHITA GRAPHIC COMMUN SYST INC
 (72)Inventor : KOJO FUMIYASU

(54) METHOD FOR REGISTERING AND RETRIEVING DRAWING FILE SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To efficiently perform the retrieving job by extracting a part of a drawing to reduce it into the low image resolution information, serving as the retrieving picture information and displaying these information in a lump at the time of retrieval.

CONSTITUTION: The picture information of high image resolution read out of an original drawing by a scanner 2 is stored in a page memory 16c of an optical disk device 4 as well as in a window memory 13 of a work station 1. The picture information of the memory 13 is converted into the low image resolution information for display by a reducing circuit 12 and stored in a frame memory 11 to be displayed on a display device. The retrieving picture information serves as a part of the original drawing and is also reduced for display. Therefore the quantity of this picture information is small and can be read out of a medium at a high speed and also directly displayed with no addition of a reducing process. Thus a sample drawing is displayed in a short time. Furthermore many small sample drawings can be displayed at a time on a single display screen.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

④ 日本国特許庁 (JP) ① 特許出願公開
⑤ 公開特許公報 (A) 昭63-182777
⑥ 公開 昭和63年(1988)7月28日

①特 願 昭62-14731
②出 願 昭62(1987)1月23日
東京都墨田区下目黒2丁目3番8号 松下電送株式会社
東京都墨田区下目黒2丁目3番8号
外1名

対応づけて登録される。また同時に、上記のキー ワード検索情報はインテラーフェイス18を通じて機 構装置5に入力され、送信ディスク等の媒体に図 面番号と対応づけて登録される。

一方、図面を検索する場合、目的の図面に付けられたされているであろうキーワード検索情報をいくつか検索結果から読み出してワークステーション上に表示させる。これら検索情報を調べて目的の図面を検定し、その図面の属性情報を元ディスクに記憶する。これにより、検索結果を元ディスクに記憶する。これにより、検索結果を元ディスクに記憶する。これにより、検索結果を元ディスクに記憶する。

解説する。この問題は、図面の開拓点に焦点を当てたもので、その目的は、図面を表示させてそれを見ることで目的の図面を探し出す検索作業が能率よく行えるようにした図面ファイルシステムの構造・検索方法を提供することにある。

解説するための手筋

本実例においては、原稿図面から読み取った高精度の断線情報を用いて、上記の問題を解決する。

四

上記検索用面情報は原種図面の一部分であり、しかもも表示用に縮小された面情報をある。従ってその面情報量は小さく、これを検体から高速で読み出せるし、縮小処理を施さずして直接表示できるので、サンプル図面の表示が実現されるまでの時間が短い。さらに、小さなサンプル図面は 1 つのディスプレイに表示されるとともに、上記キーワード検索情報が光ディスクのエリア B 3 および C 上に表示される。

と、ワークステーションのワンドモモリ13C それぞれ格納される。ワンドモモリ13Cの面情報を駆け目路12によって表示用の低解像度の情報に変換されてフレームモモリ11に供給され、それがディスプレイに表示される。

上記の表示は原種図面の全体圖である。この表示を縮出したならば、この画面についてのキーワード検索情報をキーワードで入力し、登録指令を与える。すると、ページモモリ16Cの面情報を光ディスクのエリア B 1(解説図)で巡回番号と対応づけて記憶されるとともに、上記キーワード検

既存例

既存例で説明した図1 図の画面ファイルシステムの構成は本発明の実施例でもある。検索装置5を用いた文字(文書)によるキーワード検索機能に加えて、本発明では以下のようにチャンブル画面の検索機能を持たせた。

チャナ2で医療画面から読み取った高解像度長方形の接写枚30を一入力に監視して表示されると記述される。

さらに登録操作のオペレータは、ディスプレイ上の医療画面の全体の表示を見て、その中の一部をサンブル画面として抽出する操作を行なう。図3図にサンブル画面出時の表示例を示している。この例では、1つの画面の8分の1の大きさの

上に現われ、この枠30をキー-ボードやがインテイシングタイムスの操作で自由に移動させることができ。表示されている全体画面中のサンブル画面は8件のサンブル画面を第4面のように並べて1つにするのにふさわしい部分に枠30を位置させ、枚取り指令を与える。すると、フレームメモリ11の色情報のうちの上記枠内の中の部分画面情報が光ディスク装置4に送られ、光ディスクのエリアE2に画面番号に対応づけて記録される。

以上のように、1つの画面に付して、文字によるキーワード検索情報とサンブル画面検索情報とが登録される。

登録してある画面の検索は、発光と同時にキーワード検索情報に基づいて行なうことができる他、サンブル画面の表示を見るごとによっても行なえる。

例えばキーワード検索によって該当画面がいくつかに分られたとき、それらについてサンブル画面の検索指令を与える。すると、該当画面のサンブル画面の色情報が光ディスク装置4からワークステーション1に記録される。

次にサンブル画面によって該当画面がいくつかに分られたとき、それらについてサンブル画面の検索指令を与える。すると、該当画面のサンブル画面のデータ量は約1.6KBバイトである。元の画面のデータ量は約3.8KBバイトになる。これを解像度が約1200×860画素のディスプレイステーション1に読み出される。ここで、1つの

イに表示するため、縮小処理によってデータ量を約125KBバイトに減らす。この1画面分のデータ量の8分の1がサンブル画面となる。つまり、1件のサンブル画面のデータ量は約1.6KBバイトであり、元の画面のデータ量の約0.4%と非常に小さい。使って、サンブル画面の色情報を光ディスクに付加記録しても容量的にはあまり問題にならず、またサンブル画面の読み出し/表示の処理も非常に高速に行なえる。

発明の効果
以上詳細に説明したように、この発明によれば、登録してある画面の代表的な一部であるサンブル画面を、多數の件について一括して高速に表示させることができるので、画面を実際に見て目的画面を求める検索作業を非常に速く進むことができる。

4. 図面の簡単な説明

図1図は画面ファイルシステムの代表的な構成例を示すブロック図、図2図は本発明の一実施例による光ディスクの情報配信区分を示す概念図、

図2 図

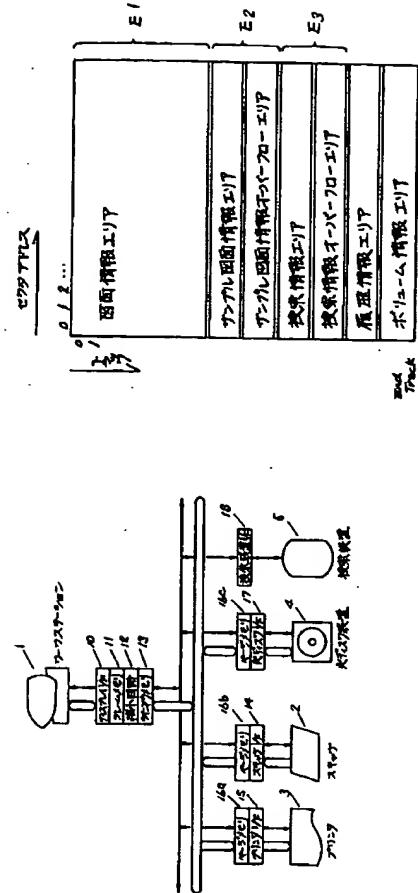


図1 図

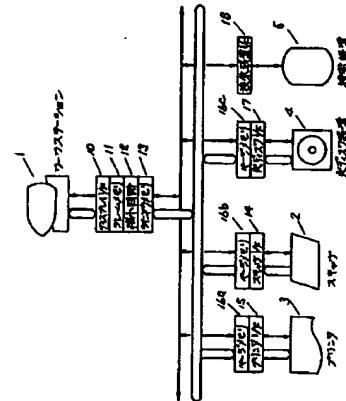


図3 図

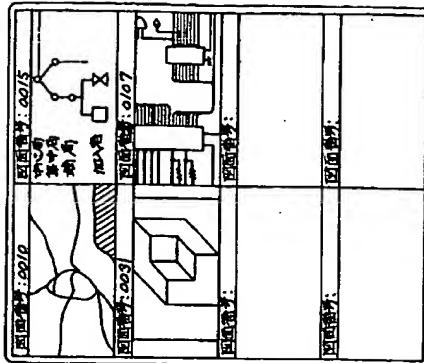


図4 図

